

# 国内屈指の農業産地を足元から支える直売所！！

## 道の駅「田原めっくんはうす」

### <事業者の概要>

- ・所在地 : 愛知県田原市東赤石五丁目74番地
- ・運営主体 (株)田原観光情報サービスセンター(3セク)
- ・取組内容 : 道の駅(農産物直売、特産品販売、レストラン、パン工房、観光案内所等)
- ・売上高 : 9億2,900万円(平30年度)
- ・来客数 : 87.2万人(平30年度)
- ・雇用者数 : 23人(平30年度・臨時雇用含む)
- ・URL : <http://tahara-michinoeki.com>

### 【開設の経緯】

- 平4年、市内の3団体(市、JA、漁協)の出資により設立された当運営主体(第3セクター)が農産物直売所として開設。
- 平5年、市が指定管理制度を活用し、当運営主体に管理・運営を委託し、同時に道の駅として登録。
- 平21年、2号店として、特に花(同市の生産量は全国1位)の販売に重点を置いた「道の駅 あかばねロコステーション」を渥美半島の中間の沿岸部に新たに開設。

### 【特徴的な取組】

- 青果や花のネット販売を実施(当駅のWEBサイト上での発注・決済)。具体的には、注文内容が契約農家専用のページに自動入力され、受注農家はこの情報を基に受注品を当駅に納入。その後、当駅が一括して発送する仕組み。
- 平30年のリニューアルで、加工施設「めっくんもぐもぐ工房」を新たに設け、生産者と連携して加工食品(伊良湖黒牛カレー等約15種類)を開発・販売。使用する原材料は、主に直売所で扱う農産物や品質検査をパスした規格外品。
- 野菜ソムリエ1名(全体で4名が所属)を毎日売場に配置し、食材の情報や調理方法(レシピ)等を来店客に提供。また、契約農家に対しては、商品のポップ作成の支援、野菜の品質検査の結果及び市場価格の動向などの情報を広く提供。



店舗外観



野菜売り場



加工作業の見える化



加工食品(右上:ジャム、ドレッシング。右下:冷凍野菜)



### 【取組の効果】

- 売上高: 7億2,400万円(平27年度) → 9億2,900万円(平30年度)
- 来客数: 64万9千人(平27年度) → 87万2千人(平30年度)
- 従業員数: 10人(平27年度) → 23人(平30年度)

### 【今後の展望】

- 集客及びサービス向上のため、メールマガジンによる情報発信(令2年度中を目的)。
- 農業を生かした都市との交流人口を増やすため、農産物の収穫体験と農家民泊体験をセットにしたツアーを企画予定。

